

立教185年 全教一斉にをいがけデー



第638号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email:skyou@live.jp



立教185年「全教一斉にをいがけデー」が去る9月28日から30日にかけて行われ、静岡教区管内の各支部でも、まだコロナ禍が続く中ではあるが活発に行われた。

日頃教会などを拠点に、思い思いに展開しているにをいがけ活動を、年に一度、同じ地域に住むようばく・信者が心を合わせて推進する「にをいがけデー」。

提唱90年の節目を迎えた今年「身近な人へ御教えを伝えよう」をテーマに掲げ、教会長を先頭によろばく・信者は各支部、また各組単位、それぞれの教会周辺で、戸別訪問・リーフレット配布、また駅前などの街頭での路傍

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



講演など布教活動が活発に行われた。静岡教区管内では9月23日の台風15号の被災により連日災害救援ひのきしん隊が出動する中ではあるが、静岡隊として、この3日間は全教が一手一つに実動する期間であることから、午前中出動と定めて実動し、午後被災地での救援活動のひのきしんをつとめる姿があり、まさに教区管内一手一つの実動となった。

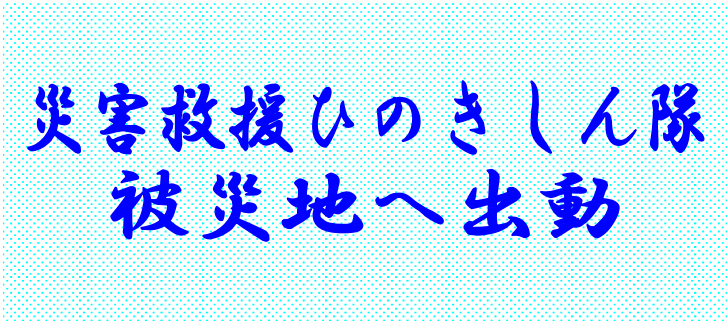
大谷安則教区布教部長は、「災害があり、正規の活動は出来なかつたけれど、災害救援のひのきしんを通して、



普段出来ない大きなにをいがけとなっている。これからも地域の人々に寄り添い、たすけあいの活動を進めつつ、活発な布教活動を展開したい」と話した。

※各支部の詳細は来月号に掲載

9月23日夜、24日未明にかけて台風15号は静岡市清水区、葵区、磐田市豊岡地区、焼津市岡目地区など県内各地で広範囲の地域にわたり河川の増水により土砂崩れにより家屋の倒壊、浸水、一部地域で長期の断水など大きな被害をもたらしました。
管内教会関係では教務支庁が床上浸水、床上浸水の教会が2カ所



令和4年 台風15号 静岡教区災害救援ひのきしん隊出動記録

日時	現場	作業内容	人数
9月24日	教務支庁	片付け作業	20
9月25日	葵区幸庵、内牧地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	1
	清水区本松原分教会	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	5
9月26日	葵区幸庵、内牧地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	5
9月27日	葵区幸庵、内牧地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	12
9月28日	葵区幸庵、内牧地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	11
9月29日	葵区幸庵、内牧地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	14
9月30日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	22
	高部団地給水、小島地区	給水	4
	葵区幸庵地区	泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出他	21
	清水区高部団地	道路、駐輪場、倉庫前等の泥撤去	10
10月1日	葵区幸庵地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	21
	清水区高部団地	道路、駐輪場、倉庫前等の泥撤去	16
	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	10
	葵区小島地区	給水	4
10月2日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	18
	清水区小島地区	給水	4
	葵区幸庵地区	側溝泥出し、被災者宅 床下泥出し他	46
10月3日	清水区高山	畳、物品移動、土砂搬出、洗浄	14
	清水区宍原地区	給水	4
	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出、流木撤去他	8
	葵区幸庵地区	被災者宅 床下泥出し、ゴミ搬出他	21
10月4日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出	17
	葵区内宮地区、油山地区	床下泥出し 土砂撤去作業他	38
10月5日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	12
	葵区玉川地区	床板剥がし、床下泥出し他	28
10月6日	葵区腰越、桂山地区	床下泥出し、ゴミ搬出、他	20
10月8日	葵区油山地区	被災者宅床下泥出し	32
	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ搬出他	4
	葵区腰越、落合地区	床下泥出し、水路の瓦礫除去他	24
10月9日	磐田市豊岡地区	床下泥出し、水路の土砂だし	39
10月10日	葵区落合地区	被災者宅 床下泥出し他	36

床下浸水の教会1カ所が被災し、24日には教務支庁をはじめとして、災害救援・復旧作業が開始されました。災害救援ひのきしん隊静岡教区隊では、静岡市や磐田市の社会福祉協議会と折衝し被害状況を確認し、ボランティアセンターが立ち上がると、中部地区では静岡市葵区、清水区で東部地区の隊員も含めて9月29日から10月5日にかけて第1次隊が出動し、被災者住宅のゴミ出し、泥だし・搬出窓ふき、床ふき、道路洗浄、流木撤去、床板剥がし、農機具の掃除、土嚢運搬、土嚢積み、水路の土砂だし、瓦礫除去、清掃を行い、また婦人会には隊員のための弁当作りをしていただきました。また本部より給水車2台を借用して清水区で29日から3日まで給水活動を行いました。引き続き6日から10日まで第2次隊、12日から14日

まで第3次隊が出動しました。同様に西部地区では磐田市豊岡地区で9月30日から2日にかけて第1次隊が、3日から10日まで第2次隊が出動し、活発な救援ひのきしんが行われました。(活動報告は表を参照)

山口志朗教区隊長は「とにかく1日も早い復興を願い、教区長先生を始め教区管内の多くのの方々のご協力をいただいて活動出来ることは本当に有り難い限りです。長期の渡り出動してくださっている隊員の皆さんには、万



障繰り合わせて駆けつけてくださり、またそれを支えるご家族の皆さんや後方支援をしてくださる婦人会の皆様には感謝の思いでいっ

ぱいです。まだ他にも救援活動の行き届かない場所もあります。そこにも私たちに限らず支援の手が届くことを願っています」とのお

話で、今後も被災者に寄り添った救援ひのきしん活動を展開したいとのことでした。



新任・教会長に就任して

中駿東支部
静岡大教会部属
静宏分教会五代会長
松浦 秀明



六月二十六日静岡大教会部属静宏分教会五代会長として任命の免許しを戴き、九月四日には無事、就任奉告祭を執り行わせて頂く事が出来ました。

前会長からも「五代は五代の因縁に応じた道があるからいろいろ結構と思える時も又、辛いと思う時もあるだろうが不足心を起こさず、夫婦揃うて心を合わせ、力を合わせ六代の道に繋がるよう常に前向きに精進してほしい」とこれからお道を通る心構えを聞かせて頂き、勤めさせて頂く

決心であります。

私は二歳の時に、教会の裏側にある三尺程のどぶ川に落ち、意識を失いつぶせで数分ほど浮いた所を母に見出され抱き上げた時には体は硬直し目は瞳孔を開いた状態であったようで、すぐに救急車で病院へ搬送されました。病院での検査では異常もなく、間もなく意識を回復し元気な姿でベッドの上を飛び跳ねていたそうでした。

でくれたとのことでした。また、その時に「もしこの子を助けて頂けたら、将来必ず神様の御用にお使い下さい」とお願いしたそうです。その母の願いを聞いて下さり出直しても不思議でないところを親神様に救っていただいたと、その時の状態を聞かせてもらい思わず手を合わせ御礼を申し上げました。

その時父は、千葉の講社祭に出掛けており改めて報告を聞き、涙を流して喜んでいたので流して喜んでいたとの事でした。医師の方からの説明によると、落ちた時に意識を失ったお陰で汚染された水を一滴も飲まず肺に入らなかつたから助かったんだと聞かせてもらいました。実にあざやかな御守護を頂く事が出来ました。その陰には、母が救急車の中で死んだような状態の我が子におさづけを取り次い

それから数えて五十年、奉告祭も終わりの時に母がお約束させて頂いたことを今、果たす事ができたことはこの上ない喜びであります。

お道もいよいよ教祖百四十年祭活動が始まる現在、私たち夫婦は前会長が言った夫婦力を合わせて躍動する旬が来たと心に誓い年祭活動に邁進させて頂こうと決意も新たにしている現在であります。これからも宜しくお願い申し上げます。